

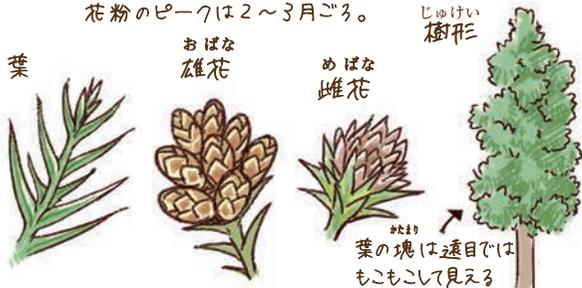
花粉症はなぜ増えている？

著者 一日一種
(イラストレーター・漫画家)

春の花粉症の原因となる二大樹種

スギとヒノキは慣れれば遠目でも見分けられます。

スギ 日本で最も多く植林されている針葉樹。名前の由来は真っすぐの木→直木(すぎ)からきていると言われている。花粉のピークは2〜3月ごろ。



ヒノキ スギに次いで日本で多く植えられている針葉樹。名前の由来はよく燃えることから「火の木」(他、諸説あり)花粉のピークはスギより少し遅く、3〜5月ごろ。



花粉症は昔は少なかった？

花粉症患者が増えたのは、ここ数十年のこと……その原因の一つは

かくだいぞうりんしさく
拡大造林施策



戦後の復興などのために、全国的に広葉樹中心の林を伐採し、単一な樹種の人工林に変えていった。

現在、人工林は日本の森林の約4割を占める。そのうち約7割はスギ・ヒノキ林。これらが大量の花粉を出す。



※林野庁「森林資源の現況(平成29年3月31日現在)」より

外材の輸入や木材の需要低下などで、人工林の多くが放置されている。伐採されないまま、間伐や枝打ちなどの手入れもされないと、細い木が密に生育した暗い森となり、生物多様性の低下、水源涵養機能の低下、土壌の流出などにつながるぞ。

